

第76回定期地方大会④

9月23日(金・祝) 10時半～県教育会館

国労

蘇我運輸区分会ニュース

集まれる工夫を！

佐倉駅分会より

8月に分会集会を行なった。広範囲でも集まれる工夫をしている。(エルダー契約の)65歳まで、またそれ以降も働き続けられる職場をどう作っていくのか。代表選挙は、分会組合員全員で取り組むことが出来た。



第76回定期地方大会

結果は都賀駅の配属となり、このままでは退職をせざるをえない仲間

の声。分会で出来ることはやっていくが、地本の支援もお願いしたい。

組織人員13名、内パートは3名。分会再編に関しては、パートにも組合に残ってくれる先輩たちもいる。これ以上の広範囲となれば、運動の力も弱まる。提案のように入退社1は2になると思えない。一番大事なのは、組合員がどう頑張っていくか

新浦安分会より

組織人員8名。月1回の非番者集会、機関紙の発行の他、他職場分会との交流も定期的に行なっている。

会社施策のダブルトに関する教育が不十分で、社員や利用者にシワ寄せがいつている。経費削減が原因で、通信環境の悪い職場では(万一の場合に備えて)時刻表など紙物があった方が安心する。経費削減に関しては、目の前のことだけ考えてはダメだ。

JESSS管理者は、窓口業務をやらないが、色々な理由から窓口に入るべきだ。

新小岩保線分会より

組織人員15名中、14名がエルダー、9職場に分かれていて、中々集まれないが、月1回の集会と機関紙の発行を続けている。各職場の近況報告、今後何をしていくのか、激励も含めて話し合っている。コロナ禍で、旅行も出来ないが、パーベキューなどのレクも計画している。

仕事があつく、64で退職希望の仲間を励ますが「死んじやうよ」という声。精神疾患で休んでいる仲間もいる。やっていることは、エルダーもプロパーでも全く変わらない。出来ないことは出来ないとはつきり訴えようと話し合っているが、出来ないは他の人にしわ寄せがいくシレ

ンマもある。声を出して頑張っていきたい。

大網保線分会より

コロナ禍で分会運動も中々出来ない現状。

代表選挙は分会から飯田くんが立候補し、落選はしたものの、組合員の他2名の投票があり、拡大、意識の変革が出来るのではという自信につながる。

分会再編は、職協別(工務協)でひとつの分会で良いのではないかと話になった。電気分会とも話し合いたい。

収入の大幅減で、設備投資についても大幅削減。(線路脇の草刈りも出来ず)草が生い茂り、退避場所にも苦労している。(次号に続く)



蘇我運輸区 飯高さん

職場に残そう、労働運動！

☆ やはり自分たちの仕事だけでなく、他系統職場の話も聞いて、多角的に問題を取り上げた方が良いですね。